

# プロレタリア通信

共産主義者同盟共産主義者同盟共産主義者同盟

東京都文京区 59.10.22  
九段1-17  
世界研究社  
(92) 5939  
NO 22

非常勤斗争の重大段階にあたってへ全テ斗争について

## 全遊労組の前々労働者の任務

中野の弾圧と斗争!!  
牛込を孤立させるな!!

二二日、中野の三人の労働者が逮捕された。  
六月に非常勤労働者石原さんの首切りを、青草部がとりあげ、独自の救援活動を行い、悪徳買収のクビキリ撤回を要求して斗争を起したからにはじめられた全遊労組の非常勤斗争は重大段階に達した。  
今、非常勤斗争は、牛込の非常勤の専従権カク得の斗争と共に大きな社会問題となり、全国的な問題となることになった。  
東京地区でもやがて激化して、全国の斗争に波及する状態が見えようとしている。  
九月のはじめの物だめから、今いたるまへ、郵政省、警察官の派遣、十月十日停職を最高とする大量処分、町内会の組織による「賄賂」の切くがしをけとばして、中野牛込の斗争が、二二日までの情勢をつくりだして来た。  
だからこの斗争は、二二日までの斗争をブレイクし、非常勤の斗争が全国へ、全国へ、全労働者へ波及することを期す

うとしているのだ。  
中野をつぶし、それから牛込を。これが当面の省の相いだ。

これに對して全遊の斗争は三日に強力な反撃を加えらるだけまだ進んでいない。  
練馬、小石川、足立、石神井、京橋に波及した斗争も一つの統一した指導を受けていないし、地区も、牛込、中野の斗争の全遊の斗争による支援の明確な方針を、もっていない。

この状況の中、中野、牛込が大きな弾圧を受けるとは現在の斗争を弱めるだけでなく、す今後の非常勤斗争を闘いにくくするだろう。  
この状況を前にして全遊の現状を深刻に把握し、根本的任務を、基本的問題についてだけでもはっきりと打ち出す必要がある。

### (二) 労働者階級の真の解放の

立場からする批判

われわれの活動について、全くためらむ立場が行動しており、またわれわれが、全遊のという組織の外か



亦一、中野、中野を孤立せしむるため、全力をあげねばならぬことを考ふる。

二の斗いの動向は、今後の非階級斗争に大きな影響を及ぼさるる。

中野、中野を孤立せしむるため、この二つは本中攻撃を受け、亦二の攻撃としてのいが極めて困難な中での斗争と見られるかも知れない。斗いの前進のためには、中野、中野の斗いと非階級斗争について、活動家が徹底的に討議して、態度を統一することが必要だと考ふる。

そしてその上で、十一月決戦が十二月決戦かといふ地区で行われている闘争に注意を向けねばならぬことを考ふる。

全干中(田)斗は「東京は十一月決戦だが中野は十二月決戦だ」と公然と云っている。これは中野の「闘争も決戦ではない」といふ態度にちがいない。十一月決戦は東京地区大会でもはっきりと態度を統一されたわけではない。

## 六、本当の問題点

しかし、二つした場をもつたためにも、更に掘り下げた問題について、考ふるべきが重要だ。

それは二つに、活動家の討議が、全通で必要なのか。

それは全干中が、労働者階級の指導部からの指導を全く失ってあり、先進的活動家は、社、共産党の指導を失って、二つに分れて階級全体の見地から見た分析と方針を与えられていないからだ。そこから多くの進んだ活動家も、労働組合があれば十分だ、攻撃などいらぬ、という考えを持つ傾向が出ている。

これは「労働組合主義」的な傾向であり、労働者階級の解放、社会主義革命のための前向きな必死性を磨くことを極めて危険な傾向であると考ふる。

全干中組の斗いも労働者階級の解放をめざす斗いの一部であり、その立場から超階級、指導されるべきが重要だ。すべての労働者の斗いを、社会主義革命の立場から指導すること、すべての斗いの中で、社会主義革命の思想で労働者を、することこそが重要だ。労働者の任務がある。

## (七) 全通民同の本質

その立場から、日本労働運動の現状について考へ、全通の指導部について考へてみる必要がある。

全干中斗、全干のいわゆる「主流派」は、労働者階級の利益を真正に守るべきであるか？

一、九四九「反共民同」の覆印の下に、それまで徹底的に闘いぬいて来た「全通」を全通に分裂させ、当民々々に階級意識を植えつけて成立した全通民同は、その後、どんな闘いをやってみようか？

## (八) 共産主義者同盟に結集せよ！

非階級斗争を徹底的に闘い抜く道は何か。

それは非階級斗争を、中野、中野を打ち破りながら、全通全体の斗いにする事だ。

全干には、その力はないか？

十分に力はない。しかし、非階級という反労働的、排外的、斗いことを抜きにしての力が強い弱い論議はすぐやめようではないか！

それよりも全通の先進的労働者の間で、徹底的に討議と行動の意志統一を期せよ。

十一月、十二月の斗いを最大の力で闘い抜こう。その中で活動家を精やし闘い局を多くしよう。炭所の同志をその斗いで支えよ。

そして前向き労働者は、全く小ブル化となく、社会進出でなく、新しい東の前向きをめぐり共産主義者同盟に結集せよ。

- ★ 中野、中野を孤立せしむるため、
- ★ 非階級斗争を東京地区の斗いに、全国の全干の斗いとせよ、
- ★ 三五〇円、早急集結、エロの批准と共に、非階級斗争を
- ★ 中野の不当処分反対、弾圧を許すな！
- ★ 逮捕者の即時釈放、一切の処分撤回、

△ 十一月二十日、全盛運動の準備を第一とし、  
早急の展開を遂行せん。

△ 全盛運動の準備は、まず全盛運動の準備を第一とし、  
早急の展開を遂行せん。

△ 十一月二十日、全盛運動の準備を第一とし、  
早急の展開を遂行せん。